

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 29 年 1 月 26 日 No55

## 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術



中学校の技術・家庭科は、社会の変化に主体的に対応できる大人になることを目指して、自分自身で自立した生活が営めるようになるとともに、自分なりの工夫を生かして生活をより豊かにしていく力や態度を身に付けることが学習の目標です。左の写真を見てください。ミリ単位でカンナの刃先を調整している様子です。刃先を見ながら力を調整して金づちを打つ姿はまさに職人です。1年生では製作図を基にして、一枚の板から材料を取り出します。この時にさしがねや定規などを使って図面に示された寸法に合わせて、切り代や削り代を考えたけ

きができるようになるとともに、材料に適した切断用工具や機器を用いて切断できるようになることが学習の目標になります。作品のテーマは自由。条件は1枚の板から無駄なく材料を切り取ることです。右の写真は切り取った板を万力で固定して切断面をきれいに行っているところです。教室に無駄話は一切ありません。みんな真剣そのものです。

木材加工だけでも、1カ月近くの長い時間を使って作品を作っていく1年生の技術に対して、次に紹介する3年生の家庭科は50分で勝負です。3年生の調理実習では、これまでの学習の総まとめとして、手際よく調理できるように計画を立て、安全と衛生に留意した調理を行い、後始末や調理後の評価も含めて限られた時間内に行うことが求められています。まさに生活の中で必要な力ですね。



## 生活に必要な段取り能力



黒板には細かく手順が示されています。ここも調理は真剣そのものです。1分1秒も無駄にはできません。トマトをスライスしている人の横で玉ねぎがこんがりいい色に炒められています。その横ではソースを作っている人がいます。どのグループもてきぱきと仕事分担できています。

ここでちょっと立ち止まって考えてみましょう。この作業を家庭では保護者の方が毎日一人で行っていらっしゃるのです。お勤めに出られている方もいらっしゃるでしょう。それでも、君たちに美味しい食事を準備してくださっていますよね。きっと

仕事帰りに冷蔵庫の中身を頭に描いてメニューを考え、足りない食材をお店で購入し、急いで調理しておなかをすかして帰ってくる君たちを迎えてあるのではないでし



ょうか。先の先を考えながら対処していく力。これこそが段取り能力ですね。生きるために必要なとても大切な力です。そんな力を学習の中で身に付けていくのですね。

